

# ESに力を入れる 我が社の制度

ベンチャー企業こそ従業員一人ひとりのパフォーマンスが業績に直結します。

当コーナーでは従業員満足度向上に力を入れている会員企業のお取り組みをご紹介します。

今回はスポーツ関連事業を行う株式会社スポーツワンの「健康経営」です。

株式会社スポーツワン

神奈川県横浜市都筑区池辺町 3984-1  
http://www.sportsone.jp

事業内容  
スポーツ関連事業



代表取締役兼 CEO  
武田 利也 氏

## 健康経営を取り入れ残業が大幅減少！

### 従業員一人ひとりが健康と効率を考慮して仕事に取り組む生産性の高い組織に



「健康経営優良認定法人 2019」認定証を持つ杉浦さん

当社はスポーツや健康に関する事業を提供しています。ですから、まずは従業員から健康でいようということで昨年健康経営に取り組み、今年の6月に「健康経営優良認定法人2019」の認定を受けました。

昨今働き方が変わってきていますが、生産性を上げないと働き方を変えることはできないと思います。健康経営では残業を減らすこと以外にも、仕事を効率化して生産性を上げていくことが大切です。残業が減れば会社は残業代を支払わなくて良いですし、そのお金を他のことに投資できます。医療費が国庫を圧迫していますが、健康でいれば病気にもならず会社の医療費負担が減って社会貢献にもなります。必ずリターンがあるので、みんなで生産性を上げて早く帰宅し早く寝て健康的な状態をつくってもっといい仕事をしよう、できた時間を自分のスキルアップや家族で過ごすなど自分のために使おうということで取り組んでいます。

導入背景には、残業を減らしたいという課

題がありました。特にスポーツイベントの前日には備品の搬入などで作業量が多く、残業が恒常化していました。健康経営の導入をきっかけに、人は起床から12時間しか頭が一番良い状態で働かないということを踏まえて、残業するならば早く来て朝残業することを奨励するようにしました。すると、みんなが生産性を高める働き方を考えるようになり、部署ごとにスケジューリングや効率の良い仕事の進め方を話し合うようになり、イベントの備品の搬入も2日前に行うようになりました。もし不足があっても翌日対応できるので効率的です。

導入にあたっては勉強会を開いて社長が講師となり健康経営の意義を全員に正しく理解してもらうようにしました。「健康ポイント」という仕組みを設け、社長も含めて従業員を4チームに分けて健康的な取り組みをした人にポイントを付与する形で健康ポ

イントをチームで競っています。残業をする場合は朝残業をすることとし、夜残業より朝残業の割合が高い人には5ポイント、週3日以上1日6,000歩以上歩いたら1ポイント、月曜日に血圧・脈拍・体重の測定をしたら1ポイント付与します。みんなのモチベーションを保つために、各チームのリーダー4名で健康ポイントの仕組みについて定期的に話し合い、月に一回は全体で締会をして月間賞を発表、目標が達成できなかったチームには目標を達成するにはどういう行動をすればよいかを話し合ってもらっています。

健康経営優良法人の評価基準には従業員同士のコミュニケーションを図る仕組みもあるので、月に1回「カレー会」を催し、みんなで作ってパートさんも含めてふだん話さない人ともコミュニケーションを図るイベントを行っています。その他、年2回スポーツテストの実施、毎日睡眠時間と体調を10段階で申告してもらうことで健康管理を促進しています。

今年の6月から開始したのでまだ5カ月ほどですが、みんなが効率を考慮して仕事に取り組むようになり、残業もどんどん減っていて早くも効果が出ています。健康でいることで仕事が楽しくできて生き生きと暮らせるきっかけになればと思っています。

(管理事業部 杉浦 綾子 氏)

#### 「健康経営」とは

- ・従業員の健康保持・増進の取り組みが、将来的に収益性を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること。
- ・ジョンソンアンドジョンソンでは、健康経営に対する投資1ドルに対するリターンが3ドルになるとの調査結果も出している。
- ・「健康経営優良法人 2019」では、大規模法人部門が821法人、中小規模法人部門が2503法人認定されている。

(出典：経済産業省資料)

## Case



健康ポイント  
月間1位獲得の  
丸山さんの  
コメント

株式会社スポーツワン  
システム&デザイン テレビジョン  
丸山 真理子 氏

### 「朝残業では同じ1時間で午後の3倍の仕事ができる」

制度が始まってから朝残業をした方がいいのかなと思って出社時間を少し早めました。朝は集中できるので、時には同じ1時間で午後の3倍の仕事ができます。それが分かってからは30分か1時間、朝早く出社するようにしています。効率がいいのはもちろん、その方が定時で退社できるからです。

デザイナーは最終工程なので前の工程が押せば帰れないこともありますが、健康経営が導入されてからは前の工程がスケジュール通りに進められるようになったので、健康経営は会社の効率化にとっても効果があると思います。



締会で表彰を受けた丸山さん